



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 6502

レジガードEPプライマー

1. 一般名 エポキシ樹脂プライマー
 2. 規格 社内規格
 3. 特徴
 1) コンクリートに対する浸透性がすぐれる。
 2) パテや中途との相互接着性にすぐれている。
 3) 耐酸、耐アルカリおよび物理特性にすぐれている。

4. 塗料性状

項目		内容		
容姿		2液性		
荷姿		16kgセット(主剤:8.0kg、硬化剤:8.0kg) 4kgセット(主剤:2.0kg、硬化剤:2.0kg)		
色相		クリアー		
光沢		つや有り		
密度 (23°C)	塗料	0.95		
	揮発分	0.85		
加熱残分		45%		
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C
	指触	3時間	1時間	30分
	半硬化	24時間	8時間	6時間
標準膜厚		—		
引火点		SDS参照		
発火点		SDS参照		
爆発限界(下限~上限)		SDS参照		

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目		内容		
下地処理		プラスト又はワイヤーブラシ処理		
調合法		主剤:50部、硬化剤:50部(重量比)		
可使時間	5°C	20°C	30°C	
	48時間	24時間	12時間	
使用シンナー		レジガードシンナーA		
塗 装 法	塗装方法	刷毛塗り、ローラー塗り		
	希釈率	50~100%(重量比)		
	標準使用量	0.10kg/m ²		
	標準膜厚	—		
塗 装 間 隔	温度	5°C	20°C	30°C
	最小	6時間	2時間	1時間
	最大	10日	10日	10日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

6. 施工上の注意

- コンクリート面のレイトランス、塩分、油脂、湿気、塵埃、水分その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。硬化反応が進んだ塗料はシンナーを加えても使用できない。
- 塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので必ず規定時間以内で塗り重ねを終了すること。尚、規定時間以上経過した場合は、材料表面をサンドペーパー或いはパワーブラシ等にて研磨し、さらにウエスで拭いて調整してから施工すること。
- 希釈には必ずレジガードシンナーAを使用すること。
- 塗装終了後の使用器具は直ちにレジガードシンナーAで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。
- 塗装後短時間以内に雨に当たると塗膜が白変する恐れがあるので注意のこと。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第1石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	—	—
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意【警告】

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。